

令和元年度活動報告について

- I 賢明な利活用及び地域振興検討合同部会 令和元年度活動報告・・・・・・・・・・ P 1
- II 遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部
令和元年度活動報告・・・・・・・・・・ P 3
- III 関連性のある既存組織との連携・・・・・・・・・・ P 5



第8回 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会
令和2年8月

具体的テーマ：「ヨシ焼きの継続実施とヨシの新たな利用について」
「エコツーリズムについて」、「観光について」

第18回 合同部会 (令和元年9月25日)

- ・「ヨシ焼きの人手不足に関する現状把握」、「ヨシを素材とした体験プログラムづくりの検討」「ヨシ焼きチラシの作成」について、今後の進め方を説明し意見交換を行った。
- ・11月に実施予定の、有償ツアーを紹介し意見交換を行った。
- ・レンタサイクルの相互利用について状況説明



有償ツアーチラシ

第19回 合同部会 (令和元年11月27日)

- ・ヨシ焼きチラシについて、案を提示し、意見交換を行った。
- ・ヨシ焼きの人手不足について、今年度のヨシ焼きではボランティア募集を見送ることを説明した。(次年度以降も対応策を引き続き検討する。)
- ・11月10日に実施した有償ツアーについて、メニューやコース、参加者の感想報告
- ・レンタサイクルの相互乗り入れについて状況説明

第20回 合同部会 (令和2年1月22日)

- ・ヨシ焼きチラシについて、意見を反映した最終稿を報告
- ・ヨシを素材とした体験プログラムづくりに向け、ヨシの新たな活用アイデアに関する意見交換を行った。
- ・3月に実施する「ヨシ焼き火入れ体験と周辺地域の周遊等」ツアーの募集内容を紹介
- ・アクセス道路ネットワーク化 国号50号に標識設置されたことを報告
- ・レンタサイクルの連携についての進捗を報告



ヨシ焼きチラシ

第21回 合同部会 (令和2年3月4日) (中止 会議資料の送付)

- ・ R1年度実施事項の報告

第22回 合同部会 (令和2年5月27日) (中止 アンケートによる意見聴取)

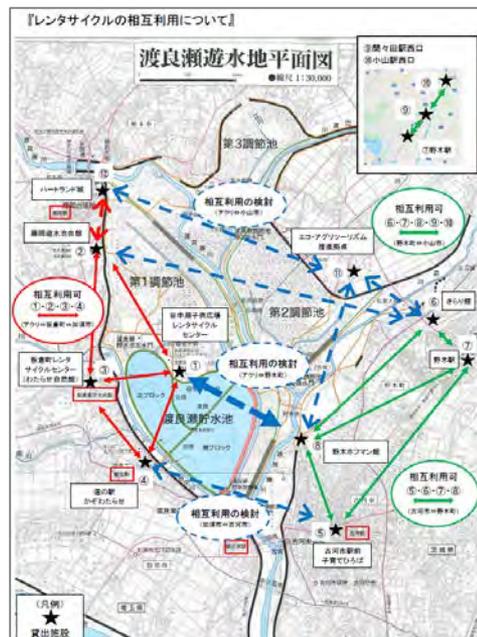
- ・ R2年度事業計画についてアンケートを実施し意見聴取

第23回 合同部会 (令和2年7月8日) (書面送付)

- ・ 第8回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会の報告事項確認



「道の駅みかも」付近に新設した道路案内標識



レンタサイクルの相互利用について

具体的テーマ：「野鳥の生息環境の保全」、「遊水地のガイドブック等(英語版含む)」、「普及啓発のための人材育成」

第18回 合同部会 (令和元年9月25日)

- ・「わたらせシールラリー2020」の事業概要(案)について意見交換
- ・多言語案内ツールの事業概要(案)について説明
- ・自然観察パンフレットの(案)について意見交換



シールラリーチラシ

第19回 合同部会 (令和元年11月27日)

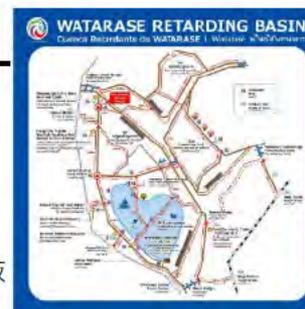
- ・「わたらせシールラリー2020」の1月からの実施に向け、意見交換を反映させた最終版のチラシを紹介。広報及びシールの配布依頼を各構成団体へ行った
- ・多言語案内ツールについて素案を提示し、意見交換
- ・自然観察パンフレット(案)を修正し、完成



自然観察パンフレット

第20回 合同部会 (令和2年1月22日)

- ・「わたらせシールラリー2020」の記念カード・認定証(案)について意見交換
- ・多言語案内ツールについて修正版を提示し、意見交換



第21回 合同部会 (令和2年3月4日) (中止 会議資料の送付)

- ・「わたらせシールラリー2020」の記念カードの報告
- ・多言語案内ツールの報告
- ・台風19号による大雨後に遊水地内に堆積したゴミの回収について報告
今後の解決法の検討を来年度の検討事項とすることを提案した。

第22回 合同部会 (令和2年5月27日) (中止 アンケートによる意見聴取)

- ・R2年度事業計画についてアンケートを実施し意見聴取

第23回 合同部会 (令和2年7月8日) (書面送付)

- ・第8回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会の報告事項確認



多言語案内看板(日本語、英語、スペイン語、タイ語)



シールラリー記念カードの検討

III 関連性のある既存組織との連携

「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会（以下、「本協議会」という。）」の取り組みは、関連性のある既存の組織との連携によって、シナジー効果が期待できる。

既存組織①「渡良瀬遊水地エリアエコロジカル・ネットワーク推進協議会、渡良瀬遊水地エリア検討部会」
トキやコウノトリなどを指標とした河川（渡良瀬遊水地を含む）及び周辺地域で、多様な生物の生息可能な自然環境の保全・再生方策を推進し、賑わいのある地域振興・経済活性化方策に取り組むとともに、広域連携モデルとしてのエコロジカル・ネットワークの形成による魅力的な地域づくりを実現することを目的としている。

既存組織②「渡良瀬遊水地湿地保全・再生検討委員会」

渡良瀬遊水地の湿地環境等、自然環境の適切な管理のあり方等を検討することを目的としている。

上記①及び②の組織は、設立の経緯や目的が異なっていることから、各々が独立した組織として機能していたが、本協議会の目的である「渡良瀬遊水地のラムサール条約登録を踏まえ、「湿地の保全」、「湿地の賢明な利用」を図るため、治水機能の向上と継続的な自然環境の保全及び様々な利活用の促進に関し、関係機関及び周辺の住民等が十分に協議を行う。」を実践するため「コウノトリを初めとする鳥類」の生息環境の保全・再生推進の観点からも、今後は積極的に情報の発信・交換を行い、連携を図っていくことが、第7回協議会において決定した。

【R1年度の実施報告】

- ・上記の情報の発信・交換を効果的に実施することを主たる目的として、渡良瀬遊水地保全・利活用協議会規約第12条に定める「幹事会」に、上記①及び②の組織の構成員を兼ねている本協議会構成員（部会構成員を含む）が出席することを試行した。
- ・「渡良瀬遊水地エリアエコロジカル・ネットワーク推進協議会」で実施した有償ツアーのエコツアーリズムでは、本協議会構成員がツアーに参加し、ツアー終了後の第19回合同部会において、今後のツアーメニューやコース、受け入れ体制、ツアーガイドの育成について意見交換した。

令和元年度 収入・支出決算報告書

1 収入

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
1 分担金	180,000	180,000	0	各市町負担金
2 補助金	0	0	0	
3 諸収入	8	0	△8	
4 繰越金	47,592	47,592	0	
合計	227,600	227,592	△8	

2 支出

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
1 会議費	25,000	5,750	△19,250	協議会・部会等お茶
2 事業費	180,000	163,900	△16,100	パンフレット・チラシ印刷
3 事務費	5,000	550	△4,450	振込手数料
4 予備費	17,600	0	△17,600	
合計	227,600	170,200	△57,400	

収入総額 227,592円

支出総額 170,200円

差引残高 57,392円 (次年度へ繰越)

上記のとおり報告いたします。

令和2年8月18日

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会
会長 大川 秀子

会 計 監 査 報 告

令和元年度渡良瀬遊水地保全・利活用協議会の収入・支出決算について、収入及び支出に係る証書書類について監査しましたところ、いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和 2 年 6 月 30 日

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

監 事 加須市長 大橋 良一



会計監査報告

令和元年度渡良瀬遊水地保全・利活用協議会の収入・支出決算について、収入及び支出に係る証書書類について監査しましたところ、いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和 2 年 6 月 29 日

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

監 事 古河市長 針谷 力 印



令和2年度 活動計画について

- I 賢明な利活用及び地域振興検討合同部会 令和2年度 活動計画・・・P1
- II 遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会
令和2年度 活動計画・・・P2



第8回 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会
令和2年8月

- (1) 【新規】 全体的な計画の検討 (1-1)
「ラムサール登録10周年」にむけた取組みと渡良瀬遊水地のビジョン等の検討をする。
- (2) 【継続】 自然環境を生かした利用 (1-2)、ヨシの利用 (4-3)
「ヨシ焼きの継続実施」と「ヨシの新たな利用」のための具体的対応策等を検討する。
- (3) 【継続】 アクセス道路ネットワーク化 (4-4) 遊水地内道路案内 (サイン) (4-5)
「レンタサイクルの連携等」と「遊水地内の案内サインの改善」について検討・実施する。

「1. 賢明な利活用」及び「4. 地域振興」合同部会① 全体タイムスケジュール(案)

H29.08.02第5回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 資料1より

項目	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年(中期) (オリンピックまで2020)	R3年~長期	摘要
1. 賢明な利活用							
1. 全体的な計画の検討	シンポジウム・ロゴマーク	→	全体計画(将来ビジョン)			→	全体合同部会での検討が必要
2. 自然環境を生かした利用		→			→	→	
3. 地域連携による安全対策			→			→	緊急時の連絡先、対応ルールの作成 自転車・歩行者の区割りの徹底、その他安全 対策の検討
4. 利用ルール(マナー、モラル)	10のマナー済み					→	10のマナーパンフレット等を活用した 普及・啓発
5. 鳥類、植物、昆虫等の観察 マナーの徹底		→	→			→	対応方法の検討、普及・啓発
4. 地域振興							
1. エコツーリズム		→			→	→	メニュー、企画、受入れ体制
2. 観光		→			→	→	企画、情報発信
3. ヨシの利用	よし利用の促進	→	ヨシの新たな ヨシ焼きの継続実施 利用の検討 に向けた検討		→	→	よし利用の促進、ヨシの新たな利用 ヨシ焼きの継続実施に向けた検討
4. アクセス道路ネットワーク化	実態と課題の整理	対応方針	→	協力依頼・改善	→	→	
5. 遊水地内道路案内(サイン)	実態と課題の整理	対応方針	→	協力依頼・改善	→	→	

II 遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会 令和2年度 活動計画

- (1) 【新規】野鳥の生息環境の保全(2-3)
昭和46(1971)年に国内野生コウノトリの絶滅後、東日本初となる野外繁殖によるコウノトリのヒナ誕生を受け全国から注目が集まっていることから、コウノトリに関する情報提供を随時行うと共に、観察マナー等の周知を図る。
- (2) 【新規】ゴミ対策(2-5)
渡良瀬遊水地の貴重な自然環境を保全するため、ヨシ焼き前クリーン作戦の実施について検討する。
- (3) 【新規】遊水地のガイドブック等(3-2)
ラムサール条約湿地登録10周年に向けたパンフレットの作成について、既存パンフレットの整理や記載すべき内容についての協議・検討を行う。
- (4) 【新規】情報提供の場(ビクターセンター)(3-3)
渡良瀬遊水地関連施設を巡る「スタンプラリー」を実施し、4市2町に点在する関連施設間の連携を図る。
- (5) 【継続】普及啓発のための人材育成(3-4)
令和2年1月より実施中の「わたらせシールラリー2020」について、新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年上半期のイベントに中止が多かったことから、**期間を1年間延長して実施する。**

「2. 遊水地保全・再生」及び「3. 人々の交流・教育・普及啓発」合同部会② 全体タイムスケジュール(案)

H29.08.02第5回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 資料1より

項目	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年(中期) (オリンピックまで 2020)	R3年~長期	概要
2. 湿地環境の保全・再生							
1. 外来種対策							一部実施中、住民への呼びかけ
2. 希少動植物保全							一部実施中、拡大には、 保全区域の設定
3. 野鳥の生育環境の保全							現状の把握と、対策について
4. イノシシ等の対応							看板設置、その他対策
5. ゴミ対策	クリーン作戦実施中						状況を見ながら対策検討
6. 治水(河道整備、避難所、掘削等)							湿地再生事業 治水関連の情報収集
3. 人々の交流・教育・普及啓発							
1. 利活用情報の一元化	システム検討	運用					渡良瀬情報ネットワーク
2. 遊水地のガイドブック等(英語版含む)							英語版パンフレット等について オリンピックまでに
3. 情報提供の場(ビクターセンター)							体験学習ハウス等、資料収集
4. 普及啓発のための人材育成							ボランティアガイドの養成、湿地の保全する人の育成等
5. 教育・普及啓発のための教材作り	教材作り	学習					治水・利水・歴史・環境

令和2年度 収入・支出予算

1 収入 (単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1 分担金	180,000	180,000	0	各市町負担金
2 補助金	0	0	0	
3 諸収入	8	8	0	
4 繰越金	57,392	47,592	9,800	
合計	237,400	227,600	9,800	

2 支出 (単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1 会議費	25,000	25,000	0	協議会・部会等お茶
2 事業費	180,000	180,000	0	事業活動経費（シールラリー用シール印刷等）
3 事務費	5,000	5,000	0	事務用消耗品購入等
4 予備費	27,400	17,600	9,800	
合計	237,400	227,600	9,800	

収入総額 237,400円

支出総額 237,400円

上記のとおり提案いたします。

令和2年8月18日

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会
会長 大川 秀子

(参考)令和2年度 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 運営負担金予定額について

1. この表は、「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」規約 第14条に基づき、各市町の負担金の年額を示すものである。
2. 負担金額は、均等割額に、前年の4月1日現在の住民基本台帳人口の割合に応じた人口割額を加えた額とする(令和2(2020)年度については、平成31(2019)年4月1日現在とする)。
3. 均等割額の合計額は60,000円とする。
4. 人口割額の合計額は120,000円とする。
5. 各市町において、4月1日現在の住民基本台帳人口を公表していない場合は、当該日の直近のデータをもとにする。
6. 人口割額を算出する際の、人口割合は小数点第1位を四捨五入した割合とする。
7. 人口割合の合計が100%にならない場合、過不足分を6市町で均等割りし、増額及び減額をする。

例 120,000円の1%=1,200円 人口割合の合計が99%の場合・・・1,200円÷6市町=200円
 各市町+200円
 人口割合の合計が101%の場合・・・1,200円÷6市町=200円
 各市町-200円

令和2年度負担割合

	均等割額	人口割額	計
栃木市	10,000	31,200	41,200
小山市	10,000	32,400	42,400
野木町	10,000	4,800	14,800
板倉町	10,000	2,400	12,400
加須市	10,000	21,600	31,600
古河市	10,000	27,600	37,600
計	60,000	120,000	180,000

人口	人口割合
160,775	26%
167,274	27%
25,612	4%
14,607	2%
113,165	18%
143,299	23%
624,732	100%